

ハンブルク・ドイツ劇場専属俳優 原サチコの 「ドイツ語で芝居してみよう」 語劇ワークショップ

～ドイツ人になったつもりで話してみよう～

- 原氏がネイティブ言語トレーナーと編み出してきた日本人向け「ドイツ語発音」の秘法の数々を伝授
- 戯曲の一場面の台詞を実際に発音してみる。現地で17年に渡り舞台に立つ原サチコのドイツ式指導付き。ちょっとドイツ人俳優気分を味わおう。
- 使用戯曲：Dea Loher "Diebe" (デア・ローアー『泥棒たち』)

日時 2017年7月18日(火)
13:30～15:00

場所 上智大学中央図書館9階 L921会議室

言語 日本語、ドイツ語

参加費無料、見学の場申し込み不要

ワークショップ参加の場合 要申し込み
(i-europe@sophia.ac.jp)

締め切り：7月11日(火)

* 原語テキストでの事前準備が必要です。
詳細は申込時にお知らせします。
動きやすい靴と服装でお越しください。



＜原サチコ プロフィール＞

1964年生まれ。上智大学外国語学部ドイツ語学科卒。2001年ベルリンに移住、ドイツ語圏での演劇活動を始め数々の作品に出演。2004年、東洋人として初めてウィーン・国立ブルク劇場の専属俳優となる。2009年よりハノーファー州立劇場専属、2011年よりケルン市立劇場専属、2013年8月からはハンブルク・ドイツ劇場の専属と、ドイツ全土の公立劇場においても唯一の日本人専属俳優として活躍中。クリストフ・シュリンゲンジーフ、ニコラス・シュテーマン、ルネ・ポレシユなどドイツ演劇界の鬼才演出家の多くの作品に出演。井上ひさし作「少年口伝隊1945」をドイツ語訳し、各地での朗読も行っている。



お問合せ先：上智大学ヨーロッパ研究所 〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1
上智大学中央図書館7階721B Tel: 03-3238-3902 E-mail: i-europe@sophia.ac.jp